



地球環境政策論分野

Global Environmental Policy

～環境政策の原理と戦略を考える～

www.envpolicy.ges.kyoto-u.ac.jp

リサーチ・トピックス

国・自治体の環境政策, 国際環境政策, 市民の環境意識・環境保全行動, 環境ガバナンスについて, 政治哲学や社会科学の観点から分析と提案を行う

➤ 原理論的研究

- 気候変動のグローバル正義論
- 環境問題における世代間正義

➤ 実証的研究

- 環境政策の過程と効果
- 環境をめぐる市民の意識・行動
- 政府・市民社会・企業の環境ガバナンス

研究室の特色

➤ 基軸ある学際性

政治哲学・事例研究・定量分析などから基軸となる学問方法を選択し、隣接分野も視野に入れつつ、研究テーマにアプローチ

➤ 多層的な研究指導

- 定期的な個別指導
- 研究室ゼミでの発表と討論
- 社会科学系他研究室と合同の研究発表会

➤ 様々な研究プロジェクトへの参画

(2016年度実績)

- 地球温暖化問題の正義論
- 自然資本・生態系サービスの社会経済的価値の予測評価と自然資本の重層的ガバナンス
- 医療と健康の分配的正義 など

学生の研究活動

➤ 多彩な学位論文テーマ

(2016年度博士論文・修士論文)

- 「日本における地下水ガバナンス:自治体政策を中心として」
- “A Quantitative Study on Innovation in Renewable Energy Technology in Korea”
- “Indigenous People’s Perception on the Commodification of Genetic Resource and Traditional Knowledge”
- 「消費者の環境配慮行動の規定因分析:目標フレーミング効果を与える影響の検討」
- 「環境教育の国際協力と教育者養成」
- “Towards an Ethics of Sustainability: The Embodied Self as a Basis for Environmental Decision-making”
- 「気候変動政策の費用分配原理に関する政治哲学的考察」

➤ 数多くの研究業績

(2016年度実績)

- 査読付き論文(掲載確定を含む) 3件
- 国際会議等での報告 3件
- ポリシー・ブリーフ 1件
- 学会賞受賞 1件

メンバーと進路

➤ メンバー

- 教授 1名 ○ 補佐員 1名
- 博士課程 9名 ○ 修士課程 11名 ○ 研究生 4名

➤ インターンシップ先

総合地球環境学研究所, 地球環境戦略研究機関, 気候ネットワーク
環境エネルギー政策研究所, ASEAN Centre for Biodiversity
PlanEnergi (Denmark), National Parks (Singapore) など

➤ 社会や学界で活躍する修了生たち

- 研究機関(進学・就職): 京都大学, 名古屋大学, 阪南大学
- 企業: 三井住友銀行, 日立製作所, ディー・エヌ・イー(DeNA)
国際航業, 船井総合研究所, 株式会社エックス研究所
- 官庁等: 新エネルギー・産業技術総合開発機構 など